

**授業概要**双子・分身・多重人格にかかわる文学研究

英米の小説の傑作を翻訳などを使い「読み」、分析し、理解する。またそれに関係するテーマの映画なども併せて議論してゆく。活字離れが進む現代、視聴覚教材を活用し、「読む」という行為と概念をさらに拡大した新たな授業を行いたい。読むということは何も活字だけを読むことには、限らない。視覚的なイメージを解読するということも、また「読む」という行為である。

**授業計画**

第1回	導入・双子・分身・多重人格の文化史
第2回	ポオ「ウィリアム・ウィルソン」を読む
第3回	ハーマン・メルヴィル「書記官バートルビー」を読む
第4回	スティーヴンソン『ジキル博士とハイド氏』を読む
第5回	ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』を読む
第6回	自分の知らない自分・無意識の発見、フロイト、ヒステリー
第7回	多重人格とノン・フィクション・ダニエル・キイス『24人のピリー・ミリガン』、『イブの三つの顔』を読む
第8回	スティーヴン・キングの分身小説（1）・『ミザリー』を読む
第9回	スティーヴン・キングの分身小説（2）・『ダーク・ハーフ』『秘密の窓、秘密の庭』を読む
第10回	シャム双生児とは何か・『運命の双子』を読む
第11回	クローンの文化史・ケン・フォレストの『第三双生児』『シックス・ディ』『ツインズ』『アイランド』を読む
第12回	推理小説と多重人格・横溝正史『悪霊島』京極夏彦『姑獲鳥の夏』を読む
第13回	現代における多重人格・解離性障害を追う
第14回	現在における自分探し・本当の自分とは存在するか
第15回	文学における分身とは何か
第16回	まとめ ディベートなど

**到達目標**

多くの小説の名場面に触れることで、活字の世界への関心がわき、国語力のアップにもなることを目指す。

**履修上の注意及び予習・復習**

言うまでもなく授業中の私語、睡眠は許されない。マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。配布した資料にはかならず目を通してもらいたい。

**評価方法**

レポートと授業中の発表およびコメント、出席などの総合評価

**テキスト**

別に指定する（主にプリントなどの資料配）